

南の風

No.39

令和2年 11月11日



〒851-0245 TEL095-836-0085

長崎市千々町5 1 3 番地

長崎市立南小中学校長

岡田 政宏

学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成

近年、茂木小学校と一緒に実施していた修学旅行。本年度は、本校の四名だけで、福岡県内を目的地に計画していたところに、新型コロナウイルス。そこで、担任等が計画を見直し、目的地を佐世保に変更。添乗員もおらず、公共交通機関での移動となるため、夏季休業期間中に現地調査を行いました。万全の準備を進めてきました。加えて、次年度から本格導入される一人一台のコンピュータ端末とシステムを積極的に使い、主体的な調べ学習を進めました。(修学旅行のまとめは、10月に訪問した「軍艦島」等と併せてデータ化し、茂木小学校とオンラインでの発表

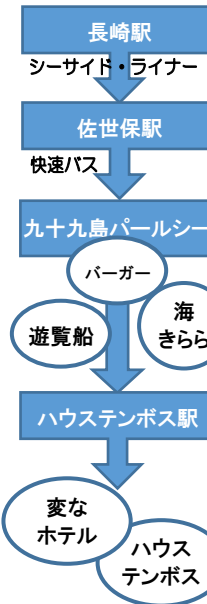


単純だけど奥が深い一番人気のアトクシオン



会を予定しています。)さて、たくさん思い出の中で、子どもたちのハートをつかんだのは、「クレイ

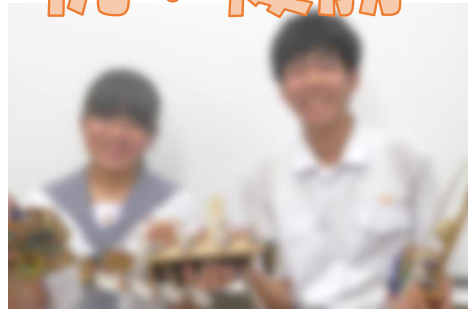
11月5日と6日、小学56年生が、佐世保方面へ修学旅行に行ってきました。本年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、県外を避け県内の魅力を満喫するコースとしました。



佐世保満喫修学旅行

11月1日、佐世保市で行われた「創造アイデアロボットコンテスト長崎県大会」において、中三の小川新太さんが、基礎部門に出場し、県の頂点に立つ「優勝」をつかみました。決勝戦についての感想を聞かれた新太さんは、「無になって試合に臨んでいたのですが、試合中の記憶がほとんどありません。」とのこと。それだけ、集中して試合に臨んでいたのですね。

祝！優勝 ロボコン県大会



のできばえにも及んでいました。製作したロボットの細部に渡る作りこみのすばらしさが評価され、見事アイデア賞に輝いたのです。残念ながら、本年度のロボコンの九州大会、全国大会はコロナの影響で中止になってしまいました。二人はしっかりとやり遂げました。

「変なホテル」と一生の思い出... 電車での旅、水族館に遊覧船、ハウステンボス公式ホテルの「変なホテル」と一生の思い出



ハウステンボスを満喫する子どもたち

ができたかな? 解散後は引率の職員も、気が抜けたからかくタクタになっていました。

ケセラセラ 昨年、大ヒットした曲「パブリカ」を歌って踊った「Too young」のメンバーの一人、新津(にいづ)ちせさん。(10歳)読むのも書くのも大好きとのこと。通っている小学校では、新聞や活字が好きな友達とクラスで「新聞会社」を立ち上げ、週一ペースで発行しているのだとか。アンケートを実施して、その結果から特集を組んだり、インタビューを記事にしたりとマーケティングリサーチにも余念がない。家庭では通常の新聞に加えて、子ども向けの新聞も購読しているそう。(本校でも小学三年生以上は活用しています)難しい政治面も、一つ一つ読んでいくと関心がなかったことにも興味が変わってくるという。最近の記事では、将棋の藤井聡太さんの偉業に感動し、「私と8歳しか変わらないのになぜ」とコメント。「いやいや、あなた(ちせさん)こそ、私(岡田)より43歳も下なのにすごい。」と思わず声に出してしまいました。日常的に新聞を読む子は、世の中の出来事を自分ごととして捉えるようになり、学びに向かう力(知的好奇心)を生かし、学力を高めていくそうです。

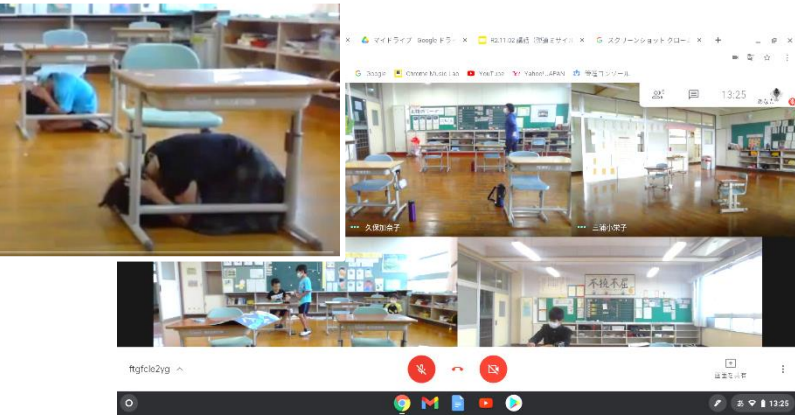




J アラート による避難訓練を初開催

今回の避難訓練は、本校の「危機管理マニュアル」(ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。)の完全リニューアルに対応し、これまで経験したことがない「国外から弾道ミサイル発射」を想定し、実施しました。教職員は、全員戦争を知らない世代です。また、これまで、日本が弾道ミサイルによる攻撃を受けたことはありません。しかし、いつ何が起こるか予測困難な今日、想定外を想定し、学校で訓練を実施することは大いに意義のあることだと考えています。11月2日に実施した訓練では、Jアラートの警報音と共に状況を知らせる放送を聞き、子ども自らが「爆風や飛散物から身を守る最善の態勢をとる」ということを主

Jアラート(全国瞬時警報システム)は、弾道ミサイル攻撃に関する情報や緊急地震速報、津波警報、気象警報などの緊急情報を、人工衛星及び地上回線を通じて全国の都道府県、市町村等に送信し、瞬時に住民等に伝達するシステムです。



な目標としました。各教室での避難の様子は、オンラインシステムにより、職員室の大型モニターで確認することも、全教室の様子を録画しました。校長室から各教室に向けて、私(岡田)が避難の講評を伝えた後、録画していた動画を各学級に配信し、子どもたちに視聴させました。自身の避難の様子を動画視聴により客観的に分析でき、「こういうことが本当に起こったら…」と自分事で物事を考えられるようになることを期待しています。

避難訓練中はオンラインで、各教室と児童生徒のようすを職員室の大型モニターに映し出す。